

「すべての道はローマに通ずる」という言葉があります。これはローマ帝国の時代に、領土に張り巡らされた数多くの街道が、すべてローマへとつながっていたことに由来して、出発点や手段は違っていて、目的が同じならば、同じ場所や結論に達することのたとえ、また、真理は一つであるというたとえです。

いのちの救いとはと考えると、それはこのいのち終わったときに必ず浄土へと導いてくださる阿弥陀さまの救いではないでしょうか。このいのち終わったときにならぬのかと不安な私たちに対して、「大丈夫だぞ、必ず私が浄土へと連れていくから。」とおっしゃってくださいさっとおります。

「必ず救う。我に任せよ。」と誓ってくださいさった阿弥陀さまの救いという真理に対して、「ありがとうございます。お任せします。」と人生という道を歩んでいきましょう。